



鈴蘭 第9号

発行者 青木 伸弘
 編集 「鈴蘭」編集委員会
 〒763-8507
 香川県丸亀市津森町219番地
 TEL (0877) 23-5555
 FAX (0877) 23-6200
<http://www.jyujin-asadahp.jp>
 題字 青木 伸弘

未来に希望のある新緑

冬枯れの木々がそれまでの殻を打ち破り、新しい芽吹きがいたるところで始まっている。1年、1年同じように見えるが、決して同じではない。常に変化し、新しいものが生まれている。その意味で新緑は、「希望」を現わしていると言える。その新緑の葉にふりそそぐ日ざしによって、キラキラと光る様相は見飽きることはない。新緑の葉の間から光がこぼれ、風が通り抜ける様はかぎりなく心地よい。



新年度を迎えて

看護部長 吉村 実枝子



法人が重仁に代わり4年目を迎えました。今年はいよいよ病院機能評価受診の年です。組織のあらゆる部署で、地域住民の皆様に質の高い医療を

提供できる医療機関として認定されるために、マニュアルやシステム作りには奔走しています。今まで手つかずになっており後回しにしていたことや、また医療機関として必要な事に改めて気付かされたり、やらなければならぬ事が山積したりしており、管理職としても反省しきりの毎日です。

機能評価の受診は目標であって目的ではなく、その過程が大切なのだと思っています。いろいろな職種が組織横断的に協力し合い、評価項目を達成するために、研修会に参加し学習を重ね、何度も集まり作業を行っていく中で、発展的な関係性の構築と医療職としての成長があるのだと思います。今年も4月に新入職者を迎えました。新採用の方が戸惑うことなく業務の内容が理解できるようマニュアルの整備を行っていくのは既存スタッフの役割でもあります。当院の行動指針の中に「的確な情報収集と品位ある思考育成に努める」という文言があります。いろいろな情報に惑わされず、情報を正しく把握するとともに、前向きに理解し、組織に貢献するために今、自分の立場でできることを日々積み重ねていくことが大切なのだと思います。

サービス向上のためアンケートを取ったり、広報で院内巡視をおこなったりしていますが、患者様やご家族の方から、ご指導、ご指摘が絶える事はありません。それらを真摯に受け止め、少しでも地域の方々に貢献できるよう努力してまいります。

带状疱疹のお話



皮膚科医師
藤田 和子

带状疱疹は、小児期に感染する水ぼうそうのウイルスが神経節に潜伏し、そのウイルスの再活性によって生じる感染症で、加齢、過労、ストレス、紫外線、個体の免疫低下などが引き金となって発症しているようです。

先行する痛みは、ぴりぴりした疼痛、筋肉痛のような重い痛みなどと、部位によって個人によって異なり、約1週間程度続いた後で、皮膚に赤みを伴った水疱が片側に带状に分布してきます。これは、ウイルスが神経枝を障害しながら増幅して皮膚面へと到達し発現した状態で、その水疱内にはウイルスが充満しています。水疱はやがてかさぶたになり脱落していきますが、皮膚症状が改善しているのに神経痛様疼痛はしばらく続く人がいます。特に高齢者では、3カ月から半年を超えて持続し、その痛みのために不眠の訴えも見られます。これは、皮膚治癒速度に比べて軽減した神経線維の改善速度がき

わめて遅いからと言われるています。

このことから、皮膚症状および疱疹性神経痛症状を長引かせないためには、できるだけ早く正しい診断をつけて早急に抗ウイルス剤の治療を開始することなのです。通常72時間以内に投与するのが望ましいのですが、遅れて投与しても効果がないわけではありません。神経痛をいかに軽症に抑えるかは、ウイルスの増殖をどれだけ防ぐかということに他ならないのです。ヘルペスかな？と疑ったらすぐに医療機関を受診してください。

带状疱疹に一度罹ると、終生免疫を獲得して再発しないのが原則ですが、悪性腫瘍やAIDSや膠原病などのステロイド服用中、免疫抑制患者などでは、しばしばの再発がみられ、水疱が全身に散発したり、治癒の遷延化もみられ、予後不良になることがあります。



医師紹介

乳腺甲状腺外来

岸野 瑛美



乳腺甲状腺外来でお世話になっております岸野瑛美と申します。平成28年4月から火曜日の検診、平成29年4月からは水曜日の午前午後と検診・外来業務をさせて頂いております。平成25年3月に川崎医科大学を卒業し、卒後臨床研修は地元である鳥取県で2年間行いました。平成27年4月に川崎医科大学附属病院の乳腺甲状腺外科に入局し、手術・外来に携わってまいりました。現在は、川崎医科大学大学院で乳癌の研究をしております。マンモグラフィの読影認定医と乳房超音波医師講習会の受講証を取得しています。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、精一杯頑張っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

带状疱疹は水ぼうそう

をしていない人に伝播（感染）します。できるだけ外出をひかえ安静に過ごしてください。入浴は制限する必要なく皮膚面の清潔を保ってください。

ヘルペス後の神経痛が内服薬で効果がない場合があります。主には麻酔科による痛みの治療外来（ペインクリニック）において、神経ブロック注射やイオンを流すイオントフォーシスなどの治療が行われています。

医療安全委員会活動



2月に二日間にかけて、全職員を対象とした5S活動の発表会がありました。当院はこれまでも、医療の質的向上に繋がる5S活動を重要視し、取り組んでまいりました。今回は日頃の取り組みについて部署ごとに発表を行うことで、5S活動の重要性を再確認できました。

第2回院内勉強会

研修報告委員会 新名 哲也



当院では、約1年半前から職員への知識をより豊かなものにするため、院内勉強会や研修報告会などの機会を設けてきました。回数を重ねるごとに出席率は高くなり、演者と聴衆が知識を共有するだけでなく、演者の発表のスキルも向上していると感じています。

2回目となる今回、第1部ではリハビリテーション科、放射線科、栄養科、看護部による部署紹介・役割についての発表があり、院内連携強化の重要性についての理解が深まりました。さらに第2部では、佐藤副理事長による「クリニカルパスの歴史と発展」についての講演がありました。近年、多くの施設でクリニカルパスの導入が進み、今では医療界の常識となっています。当院でも今後新たなクリニカルパスを導入予定です。大いに参考になり、充実した時間となりました。

医師紹介

消化器外科

松三雄騎



2017年4月より毎週月曜日勤務させていただきますこととなりました岡山大学消化器外科の松三雄騎です。
日本大学医学部を卒業し、初期研修を日本大学医学部附属板橋病院で行なった後、出身地である岡山に戻り、岡山大学消化器外科に所属しています。
これまで、広島市民病院（広島県）、福山第一病院（広島県）、済生会西条病院（愛媛県）、岡山大学病院（岡山県）と勤務して参りました。今年で11年目となりますが、香川県での勤務は初となります。どうぞよろしくお願いたします。

連携室



だより

す…ご期待下さい!!五人体制になり、今まで以上にきめ細かい対応で患者様・ご家族様の支援ができるようになると思しますので、よろしくお願いたします。

また今年度より、連携室内に『患者相談窓口』を新設し、医療ソーシャルワーカーが一名常駐しています。外来でお越しの患者様やご家族様に気軽にご利用いただけるようになりますので、何か心配事がありましたらすぐにお立ち寄りくださいね。

新年度がはじまりました。医療機関への訪問や家屋調査・転院調整など院外での業務も多く、スタッフそれぞれが慌ただしい日々を過ごしていますが、院外へと出て行く足取りが心なしか軽やかなのは時節柄でしょうか。この季節に乗じて、身軽く業務をこなしていきたいものです。

この4月、チームワーク抜群の連携室へ、新しく医療ソーシャルワーカーが一名入職しました。先輩ワーカーの丁寧な指導のもと、毎日熱心にワーカー業務を学んでいます。一人デビューまではもうしばらくかかりますが、フレッシュな笑顔に連携室スタッフは毎日癒されています。数ヶ月後にはバリバリ業務をこなすワーカーに成長しているは



Kさん、季節が変わるたびに、素敵な絵を持ってきて下さってありがとうございます。外来フロア各所に飾ってあるので、やさしい絵に癒されている患者様・スタッフも多いはず…これからも楽しみにしています♪

職場長の夢



施設管理課
課長 新田 友義

先日落語で「恩は売るものではなく買うもの、他人に恩を着せるものではなく恩は自分で着るものである」といった話がありました。…的を射た言葉だと思いますが、残念なことに落語の落ちを忘れて思い出せませんが、働くとは「はたを楽にすることで、自分も楽になる…」のような話だったと思います。
自分にとって働くとは、これからも施設がみんなの役に立ち、喜んでもらえるよう初心忘れず驕ることなく、明るく元気で好かれる部署を目指して努力する事だと思っています。(4月1日記)

寒い日と暖かい日の繰り返しの中、確実に春の訪れは気の早い桜のつぼみが「チラホラ」花を咲かせて、まわりをメジロたちが「チヨコチヨコ」顔をだす、そんな光景で感じることができません。
職場に新しい風が吹き、爽やかな風の流れを感じています。先輩から教わった仕事の一つひとつノートに書き覚えていたことを懐かしく思い出しています。今でも時々取り出して下手な文字と解りにくい絵にひとり苦笑いしています。

「Cancer Symposium in 麻田総合病院 ~1st-Announcement~」が開催されました

2017年1月14日、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学教授の藤原俊義先生をお招きし、「消化器がんの低侵襲治療と個別化医療」のご講演をいただきました。

当日は病院内外から多数の方が参加され、消化器がんの最新・標準治療の解説とポイント、最新低侵襲治療と個別化医療への展開について分かりやすくご説明いただき、講演終了後は和やかな雰囲気の中、活発な質疑応答と意見交換等が行われました。



最新がん治療の新たな展開についての情報を聴講出来るよい機会となりました。

薬剤師 堀口 理見



入職式

平成29年度の入職式が4月1日、新たに17名のスタッフを迎え入れ、緊張も漂い且つ和やかな雰囲気で行われました。青木理事長からの、「充実した医療や介護を目指す為に、自分たちの職場をここに一人ひとりが楽しく、みんなでよりよい病院を作りましょう」という激励の言葉に、緊張の面持ちで真剣に聞き入っていました。



スタッフリレー Vol.6



氏名 谷澤 美華
所属部署 看護部 6階

前回 藤岡さんからの質問

Q 休日は何をしていますか？
A スノーボード

私から「あの方」への質問
憧れている人は居ますか？

6階病棟配属になりました。谷澤美華です。趣味はスノーボードです。今期から始めて、週に2回のペースで滑走しました。スポーツと一緒に出来る仲間を作りたいと思っていますので、気軽に声をかけてください。学生時代は京都で静かな風情のある鴨川や細く魅惑的な先斗町、人の多い京都駅など楽しく過ごしました。丸亀市は温暖少雨で災害も少なく暮らしやすい街だと感じています。社会人として先輩方のアドバイスをしっかりと受け止めるようがんばります。
次はSNOWと一緒に楽しんでくれた笑顔のステキな「あの方」へたすきをつなぎたいと思います。

編集後記

日本経営合理化協会ブックスの中に、このような一節があります。
「足りざるを知るものは学を好み、下問を恥ずる者は自ら満す」
自分に何か足りないと感じる人は学ぶことを好むし、人に問うのを恥じる人は自己満足に陥ると言うことです。
このような問題意識が無く、自分の未熟さを知らなければ他人を批判することしか無くなりません。いつも仕事の上で「自分は何が足りないか」を研鑽することで初めて、他人を慮れるようになります。また、自分の足りないことを克服する過程が、病院の発展に資することにも繋がっていきます。
当院も重仁に生まれ変わって3年が過ぎ、いよいよ再生の佳境に入りました。新年度、新しく入職した方、新しい部署に異動になった方、同じ部署で頑張っている方など、職員一人ひとりの小さな努力の積み重ねが病院再生の鍵になります。

加藤 繁秋